



2013 年 3 月 26 日

各 位

会 社 名 あすか製薬株式会社
代表者名 取締役社長 山口 隆
(コード番号 4514 東証第一部)
問合せ先 広報部長 千葉 公
(TEL. 03-5484-8366)

中期経営計画 ASKA PLAN 2015 (2013～2015 年度) について

新中期経営計画「ASKA PLAN 2015」の3年間は、長期収載医薬品の薬価の見直し、薬価改定、消費税増税および PIC/S の導入など業界を取り巻く環境は、一段と厳しさを増すものと予想されます。このような状況下、当期間は、売上規模 500 億円、営業利益 30 億円（売上高営業利益率 6%）の実現に向け一丸となって取り組みます。

前中期経営計画では、震災の影響やジェネリック医薬品事業の育成の遅れはありましたが、将来に向けた投資により成長の材料は揃ってきました。本中期経営計画では、その材料を成果に結びつけ、収益の改善により継続的に利益を創出できる企業を目指します。

事業の中心をなす医薬品事業では、重点 3 領域（内科・産婦人科・泌尿器科）に資源を集中し、期間中に新薬の発売、ジェネリック医薬品の拡充による市場への浸透を図ります。研究開発では、L-105 の製造販売承認取得を目指します。

また、アニマルヘルス他の事業では、その特性を活かして事業環境変化に対応する体制と、得意とする領域で目標を明確にし、収益の向上に努めます。

あすかグループとして引き続き業務改善に取り組み、経費の見直しや組織力の強化により「ASKA PLAN 2015」を達成することで堅固な経営基盤を構築し、次のステージにすすめてまいります。

1. 全社方針

- 1) 「収益改善」に取り組み、筋肉質の企業体質を構築する。
- 2) 組織のスリム化、効率化により生産性を高め収益の改善を目指す。
- 3) 各部門の期間計画を達成する。

2. 全社目標

連結目標

2015 年度売上高 500 億円、営業利益 30.0 億円（売上高営業利益率 6.0%）

3. 執行方針

「収益改善」をテーマに、下記項目を成し遂げ、本中期経営計画を達成する。

- 1) 経営と執行責任をより明確化し、スピーディーな経営を実現する。

- 2) あすかグループのジェネリック医薬品事業を一層拡大し確立する。
- 3) 研究開発を効率的に展開し、新薬の製造販売承認取得を加速する。
- 4) グループ会社の収益向上をはかる。

4. 事業方針

(1) 医薬事業

重点 3 領域（内科・産婦人科・泌尿器科）に注力し、新薬の上市、ジェネリック医薬品の拡充、長期収載医薬品の維持、医療上必要不可欠な製品の安定供給により計画を達成する。

1) 研究開発

重点 3 領域に研究開発資源を集中させ、重要テーマ（L-105、CDB-2914、AKP-008、AHP-6030）については臨床開発体制を強化して取り組み、将来の事業の核となるよう進捗管理を進める。

2) 生産

安定供給、品質確保の体制を強化したうえで、委託品の内製化、新製品の導入、設備増強により生産量を拡大し、生産性の向上と原価低減をすすめる。チラーゼンの安定供給については、製品の分散配置を加味し適正在庫を確保する。

3) 営業

重点 3 領域の戦略活動品目、重点活動品目に対して、自立性を高めた各支店が最適なエリア戦略により効果的、効率的なプロモーション活動を展開し計画を達成する。

4) ジェネリック事業

あすか Actavis 製薬と共同でジェネリック医薬品市場への浸透と開拓をすすめ、本中期経営計画中に事業活動を確立させる。

(2) アニマルヘルス事業

牛及び豚の「栄養と繁殖・免疫」を事業領域とし、繁殖用薬とアミノ酸等機能性飼料の組み合わせによる相乗効果等により収益向上を目指す。また、今後、事業環境が大きく変化することも考えられるため、特徴ある製品構成及び技術を確立し、収益性の向上を目的とした事業構築をすすめる。

(3) グループ会社

あすか製薬メディカルの強みである検査事業とヘルスケア事業の売上伸張を目指した事業展開をすすめる。

5. 企業体質の強化

「ASKA PLAN 2015」では、コーポレートアイデンティティの浸透をはかるとともに、組織のスリム化、効率化により生産性向上を目指します。また、新人事制度の検討と人材の育成にも努め、生命関連産業の責任ある担い手として、積極的なコミュニケーションを通じ、豊かな社会への持続的発展に貢献します。

以上